

令和 3年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生涯学習推進課／文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	224, 972, 407円(令和3年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11, 555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		R03 上半期	R02 下半期	R02 上半期	R01 下半期	R01 上半期
利用者数(単位:人)		22,936	40,358	22,236	90,679	81,752
各室稼働状況(%)	大研修室	61.2	68.4	54.0	73.7	80.8
	中研修室	66.9	68.7	55.6	84.2	88.1
	研修室50	62.9	76.2	70.2	81.3	85.3
	研修室30	70.9	83.7	87.1	87.1	96.0
	小研修室1	87.0	83.3	76.6	87.1	96.6
	小研修室2	67.7	69.7	60.5	88.3	96.6
	小研修室3	63.7	68.7	68.5	84.8	97.2
	小研修室4	78.2	79.6	72.6	86.5	94.9
	和室研修室1	8.8	8.2	6.5	24.0	28.2
	和室研修室2	55.6	62.6	58.1	78.4	94.4
	音楽スタジオ大	54.8	53.7	46.0	72.5	90.4
	音楽スタジオ小1	56.4	61.6	72.6	61.4	77.4
	音楽スタジオ小2	1.6	—	—	35.7	48.6
	パソコンルーム	66.9	51.7	36.3	70.8	83.1
	クラフト室	49.1	45.2	48.4	72.5	79.7

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①芸術文化への参加・参画の促進 ②芸術文化を担う人材の育成・顕彰 ③芸術文化施設の充実 ④伝統的芸術文化の伝承や活用 ⑤芸術文化による地域活性化 ⑥新たな協働による芸術文化の振興	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー2講座開催、67人受講。各種団体との連携講座1講座開催、48人受講。ITコラボレーター会と協働のパソコン講座第1期開催、64人受講 ②市民自主講座8講座開催 ③ハートフルスクエアG情報誌の発行(9月) ④市民活動ルームを運営(延べ835人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(240件の相談、38件のボランティアコーディネート) 2. 男女共同参画推進業務 ①そのとき!!に備えて…、心とからだ・性の健康関連講座事業など4事業開催、延べ269人受講。(動画視聴者延べ1,063回) ②岐阜市女性センターYouTubeチャンネルによる情報発信、男女共同参画週間企画展示を実施。 ③ハートフルネットぎふ合同企画、男女共同参画つながり創出事業を開催。 ④電話・面接相談を開催、延べ相談件数618件(電話相談:499件、面接相談:119件)。女性のための生き方・働き方大相談会44件。 3. 市民芸術文化振興業務 ①市民文化祭(美術展覧会・芸術祭・文芸祭)の開催及び開催に向けての準備・調整 ②市芸術文化協会と連携し、岐阜子ども文化クラブ(2日間)を開催 ③文化会館を活用した芸術祭の開催及び開催に向けての準備・調整 ④市芸術文化協会との連携によるリレートーク、まちかどコンサートにおける講師の選定 ⑤岐阜市芸術文化奨励賞の準備・調整 加藤栄三・東一記念美術館との共催で、「岐阜市芸術文化奨励賞」の創設25周年を記念した展覧会を開催 ⑥市芸術文化協会との連携によるリレートーク、まちかどコンサートの開催準備、広報紙の発行(7月)
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) 〃(16・13項目)(年2回) 〃(12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①7/27に実施 ②5/15、7/21、9/15に実施 ③毎週水曜日に実施 7/15に実施 9/14に実施 ④下半期に実施 ⑤下半期に実施 ⑥9/3～17に実施 ⑦5/15、7/9、9/28に実施 ⑧下半期に実施 ⑨下半期に実施 ⑩下半期に実施 ⑪今年度該当しない(次回令和4年度)
	定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備(総合)保守点検(年2回) ④空調設備(GHP)保守点検(年1回) ⑤自動扉保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧パソコン及び周辺機器保守点検(年4回)	定期点検業務 ①保全点検:4/28、7/28に実施、リモート点検で毎月実施 ②4/28、5/26、6/30、7/27、8/31、9/28に実施 ③6/30に実施 ④6/30に実施 ⑤6/30、9/28に実施 ⑥9/28に実施 ⑦7/27に実施 ⑧6/30、9/28に実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどを行っている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間：4／8～4／14、5／15～5／21、6／22～6／28、7／1～7／7 アンケート総数：154件 8月、9月は新型コロナウイルス感染症予防対策による施設利用停止のため、アンケートは実施できなかった。
利用者アンケートの実施結果	○利用した部屋は 大研修室 5.6%、中研修室 8.5%、研修室50 8.5%、研修室30 9.6%、小研修室1 19.8%、小研修室2 10.7%、小研修室3 8.5%、小研修室4 10.7%、和室研修室1 5.2%、和室研修室2 3.4%、音楽スタジオ大 2.8%、音楽スタジオ小1 1.1%、音楽スタジオ小2 0%、クラフト室 5.6%、パソコンルーム 0% ○スタッフの対応について 満足 72.9%、やや満足 11.3%、ふつう 15.8%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 73.4%、やや満足 12.4%、ふつう 13.6%、やや不満 0.0%、不満 0.6% ○全体的な満足度 満足 71.2%、やや満足 16.9%、ふつう 11.3%、やや不満 0.0%、不満 0.6%
利用者からの要望・苦情と対応・改善	※8月～9月は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止措置により臨時休館となったためアンケートが実施できず、アンケートでの意見・感想を集められませんでした。 ・ネット環境が悪いので見直していただけるとありがたいです。(大研修室) →利用者の皆様からいただく意見を参考に、昨年度から回線工事やプラン変更を進めており、今年度の5月からは、大研修室・中研修室・研修室50・パソコンルームにおいて、有線に加えて新たに無線(Wi-Fi)でのインターネット利用が可能となりました。また、研修室30・小研修室1～4では、有線でインターネット設備を利用いただけるよう設備を改修しました。ぜひご利用ください。 ・Wi-Fiは入らないのでしょうか。(小研修室1) →小研修室1～4及び研修室30のインターネット設備につきましては、設備改修工事や回線のプラン変更を行い、今年度5月以降で有線利用が行えるようになりました。Wi-Fi(無線通信)でのインターネット設備については、今すぐの対応は出来かねますが、今後、設備をより良くするための参考とさせていただきます。今後もお気づきの点がございましたら、ご意見をお聞かせください。 ・月に3回までではなく4回まで可能にしてほしい。(和室研修室1) →いつもご利用ありがとうございます。 できるだけ多くの方に平等に利用していただく為、月3回までの予約とさせていただきます。ただし、利用希望日が1週間以内であれば、月4回以上であっても予約でき、貸室を利用することができます。何卒ご理解ください。 ・コロナ対策をいつもしっかり考えていただいていて、安心して利用させていただいています。消毒用の手袋やペーパーを入れて捨てるジブロックは、もう少し小さいものでも良いのではと思います。もったいない気がします。(小研修室3) →チャック付きポリ袋は、消毒後のペーパータオルなどを密閉廃棄するために利用いただいております。しっかりと密閉して廃棄することができるよう、容量に余裕があるポリ袋を選択しております。 ・Bアンプが前より大きくなったが、まだ不足。Gアンプもややスピーカーがへたっている。(音楽スタジオ大) →ベースアンプ、ギターアンプ等、音楽スタジオの設備については専門業者が月1回程度の頻度で定期点検を実施しております。また、意見をいただくとすぐ、職員がアンプの状態を確認しました。現時点では経年による消耗は見られるものの使用可能な状態であると考えております。備品の更新は、消耗の激しいものから順に実施しており、将来的にはベースアンプやギターアンプも更新することとなりますが、すぐに取替えることは難しい状況です。ご理解いただけますと幸いです。 ・コロナ禍で、使用条件等の変更があれば、可能な限り情報提供をお願いします。(小研修室4) →利用者の皆様には当館の感染予防対策に伴いご不便おかけしております。 今後も市役所に指示を仰ぎ、方針が定まり次第、電話やホームページを用いた迅速な対応を心掛けて参ります。 ・予約のために窓口まで行かなければならないのが手間。(研修室30) →お手順をおかけしますが、ご予約には利用申込書を直接、窓口へ提出していただく必要があります。ただし、申請者が非営利団体の場合は、岐阜市公共施設予約システムの利用登録を行うことでインターネットから予約・キャンセルを行えます。詳しくは窓口でお問合せください。 ・Wi-Fiをもっと簡単に使えるようにしてほしい。(研修室50) →当センターのWi-Fiは貸室利用者専用のネットワークであるため、パスワード設定等を行う必要がないFree-Wi-Fiとは異なります。不正利用の防止やセキュリティの保持、利用者へ安定したネットワーク環境の提供を行うためにも、現状の方法で利用をお願いいたします。なお、当センターとしまして、可能な限り容易に設定が行えるよう、Wi-Fi設定用のQRコードを作成いたしました。これは、利用するデバイスによっては未対応の場合がありますが、対応するデバイスを接続する際はぜひご利用ください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	S	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
	区分評価					A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	A	A	A
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	S	S	S
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	S	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	S	S	S
区分評価					S	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、閉館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	S	A	A
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	S	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民協働推進部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	S	S	S
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み に対する評価	新型コロナウイルス感染症対策 - 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、市の対応方針が改訂される中、その都度、予約団体全てに電話で連絡し、改定内容を伝え理解を図った。また、利用者に対し、館内のポスターやホームページ等で改定内容を周知した。 主な改訂内容 ① 4月26日(月)から5月23日(日)開館時間:20時まで 収容率:50%以下 ② 5月24日(月)から6月20日(日)原則利用停止、市のイベントは中止 ③ 6月21日(月)から 通常開館 ただし大声での歓声、声援等が想定される場合は収容率50%以内 ④ 8月18日(水)から8月19日(木)開館時間:20時まで 収容率:50%以下 ⑤ 8月20日(金)から9月30日(木)利用停止 窓口での予約、相談業務受付は可能 ⑥ 10月1日(金)から 通常開館 ただし大声での歓声、声援等が想定される場合は収容率50%以内 ※ 新型コロナウイルスにより利用を自粛した団体に対し、キャンセルに関わる手続きや料金の支払いが生じないよう、市の指示を仰ぎながら柔軟に対応した。 - 前年度から実施している新型コロナウイルス感染予防対策を引き続き以下のとおり実施した。 ① 厚労省が作成した「3密」回避と「手洗い」のポスターや、岐阜市長が発出した「コロナ社会を生き抜くための皆様へのお願い」等を館内に掲示し、新型コロナウイルス感染防止に向け、利用者に協力を呼び掛けた。また、受付等人が並ぶ位置や、エレベータに乗る位置を地面に表示し、人と人の距離を確保するよう努めた。 ② 手摺やドアノブ、窓口カウンター、トイレの便座等を定期的にアルコールで消毒した。 ③ 総合受付や生涯学習・ボランティア相談コーナー等、窓口全てに飛沫防止板や飛沫防止シートを設置し、駐車場窓口では、駐車券の受け渡し時に手袋を着用して対応を行った。 ④ 館内の出入口4カ所に手指消毒用アルコールを設置した。また、出入口のドアを常時開放して換気を実施した。さらに、廊下等の換気設備を定期的に稼働するなど空気の流れ替えを徹底した。 ⑤ 市が作成した「新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート」を基に、施設に応じた独自のチェックシートを作成し、利用者に周知徹底を図った。 ⑥ 貸室においては、既設の換気扇以外に、各部屋に工場扇(サーキュレーター)を設置し、換気の徹底を利用者をお願いした。 ⑦ 貸室や市民活動ルームの利用団体には、手指消毒用と物品消毒用の2種類のアルコールを提供するとともに、消毒に必要な「ペーパータオル」「ビニール手袋」「チャック付きポリ袋(廃棄用)」がセットとなった「消毒セット」を提供し、確実な消毒の実施をお願いした。 ⑧ 車いすの貸出しや印刷コーナーの利用では、利用前・利用後のアルコール消毒を職員が行い、利用者の安全を図った。 ⑨ 日直が毎朝、各職員の体調とマスク着用の有無を確認し、「職員感染予防対策実施確認票」に記入することで、感染拡大防止及び利用者の安全確保に努めた。 ⑩ 「新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート」を漏れなく回収することで、着実な履行確認と、感染者が発生した際の対応に備えた。 ⑪ 感染防止対策を実施している証として、岐阜市が配布する「withコロナステッカー」と岐阜県が配布する「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」をそれぞれ入口に貼付し、利用者の安心につなげた。 ⑫ 接触確認アプリ「COCOA」や岐阜県の「感染警戒QRシステム」の活用を呼び掛け、入口に案内を掲示した。 ⑬ 定期的に(1時間に1回)職員が館内を巡回し、マスクの着用や換気等の有無を確認。必要に応じて助言や指導を行い、新型コロナウイルス感染予防対策の着実な実施に繋がった。 ⑭ 利用者が会場で検温を実施する際、負担を減らす為に、非接触型体温計を貸し出した。 ⑮ 事務室の机に飛沫防止板を設置し、職員同士の感染防止に努めた。 ⑯ 換気対策として、大研修室に空気清浄機2台を設置した。また、CO2濃度計を利用者に貸し出すことで、換気のタイミングを判断する材料を提供した。 ⑰ 各部屋(こどもの部屋、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、総合受付カウンター、印刷コーナー)に抗菌抗ウイルス加工を施した。 ⑱ 総合受付に訪れた方が、検温できるよう非接触体温チェッカーサーモビューアを設置した。 生涯学習センター 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行った。 ＜実施事業＞ 生涯学習係 - 主催講座を実施するにあたり、「コロナ社会を生き抜く行動指針」と「新型コロナウイルス感染症対策実施シート」を遵守するとともに、飛沫防止板・非接触体温計の設置・ソーシャルディスタンスに対応した座席表の作成、体調チェック表を盛り込んだ受講通知の導入など感染症対策を徹底し、安心安全に参加できる環境を整えた。 - セミナーアンケートから「もっと認知症について知りたい」という声に応じて、市立女子短期大学と連携して「認知症の理解」を開催し、48名の方に受講していただくことができた。
--------------------------	--

今期の取組み
に対する評価

- 市民の強い要望を受け、昨年度に続き2度目の開催となったハートフルレクチャー「芭蕉新八景in岐阜」は、映像資料を新たに追加し、芭蕉の訪れた足跡をより明確に捉えられるようにブラッシュアップして実施した。募集人数をこえる137名の応募者があったが、新型コロナウイルスの状況を鑑み、45名の当選者とした。選外の方からは再度の開催を求められており、機会を見て同様の講座を検討する。
 - ハートフルレクチャー「ぎふ 道草 さんぽ」は、コロナによる休館措置を受け、2回の延期となったが、百々ヶ峰や金華山の遊歩道に自生する植物を取り上げ、市が取り組むクアオルト健康ウォーキングなど、健康増進のきっかけづくりにつなげることができた。
 - 現代的課題でもある認知症介護の新技法「ユマニチュード」を学ぶ講座や、介護を必要とする家族のケアを大人同様に担う子どもたちの実情を学ぶ「ヤングケアラー」の講座を企画したが、緊急事態宣言が発出されたため中止となった。今後、オンライン講座も踏まえ後期の開催を検討する。
 - 市民講師を対象に「新しい生活様式」を取り入れた講座運営を学ぶ講座を企画したが、緊急事態宣言が発出されたため中止となった。後期の開催を検討する。
 - 市民自主講座開講支援事業では、講師8名とともに準備を進め、緊急事態宣言発出のため、日程の変更を余儀なくされたが、講師や受講者、関係諸施設の協力で、無事に開講できることとなった。
 - 市中央青少年会館で開催された「若者支援クローズアップ講座」に参加し、様々な悩みを持つ若者やその家族など、青少年にかかわる問題の現状と支援のあり方やポイントについて学び職員のスキル向上を図った。
 - 地域課題の解決に向けた講座企画につなげるため、市人権啓発センターの「人権啓発講座」に参加し、子どもの人権を尊重する視点と現状、地域の取り組みについて学んだ。
 - 生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、コロナ以前のような活動が行えるように、まなバンクの紹介文を市民に分かり易くするために、登録団体と共に作り上げた。
 - 年4回発行する「生涯学習・ボランティア通信」に生涯学習・ボランティア相談コーナーで行えること・できることをイラスト付きで紹介するなど、登録団体及び市民団体の活動支援に努めた。
- 文化振興係**
- 今年度の美術展覧会は開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染状況の悪化により安全・円滑な開催が困難であると判断し、急遽開催を中止とした。今後は次年度以降の円滑な開催と、事業の見直しと改善について、検討を進める。
 - 市民芸術祭は、安全に鑑賞できる舞台公演の提供を念頭に置き、5部門6事業23公演の開催に向け準備を進めた。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い、9月中に開催を予定していた公演については中止または延期とした。10月から12月にかけて4部門4事業20公演を実施予定である。
 - 文芸祭（一般の部）全体では、昨年度に比べ応募人数・点数共に若干減少した。川柳など応募しやすいジャンルでの減少がみられるが、短編・歌詞など創作に時間を要するジャンルへの応募が大きく増加した。8月18日に審査を終え、11月に入選作品の展示と作品集を発行予定である。
- <その他>
- 岐阜市芸術文化奨励賞が創設25周年を迎えたことを記念し、近年の受賞者の作品と活動を紹介する記念展を開催した。4月20日から6月13日まで（5月24日以降は新型コロナウイルス感染症の影響により施設休館）加藤栄三・東一記念美術館で開催し、613名が来場した。
- <施設管理>**
- 利用者からの要望を基に、改善するべきことを検討し、以下の事項に取り組んだ。
 - ① インターネット環境の充実**
 - Zoom等に対応できるよう、インターネット設備を改修し通信速度を上げた。
 - Wi-Fi環境を整備した。（大研修室、中研修室、研修室50）
 - 有線ネットワーク環境を整備した。（研修室30、小研修室1・2・3・4）
 - ② マニュアルの新規作成**
 - Wi-Fiを利用する方に、職員が設定方法を説明できるよう、Wi-Fi設定マニュアルを作成した。また、対応機種であれば、QRコードを利用してWi-Fi設定が行えるようにした。
 - ③ 大研修室プロジェクター取替**
 - 大研修室プロジェクターが見づらいとの意見を受け、光度の高いプロジェクターを購入し取り替えた。
 - 事故防止対策としての日常的な点検の実施及び危険箇所や要修繕箇所について迅速に適切な対応を行った。
 - ① 消防点検時、器具不良と発覚した排煙設備、誘導灯バッテリー、電力ヒューズなどについては即座に修繕を行った。**
 - ② 換気設備について、不良部品の取替を実施し、より良い空気環境作りに努めた。**
 - あんしんつながりステーション岐阜駅東の準備
施設管理のノウハウを活かし、様々な状況に対応できる環境を整えた。**
 - ① 誰でも相談し易い環境の整備**
貸出用車いす、難聴者用「耳マーク」と筆談セット、老眼鏡、幅広い相談窓口と装飾（花や折り紙など）
 - ② 防犯・防災体制の整備**
防犯カメラ2台とモニター、緊急呼び出し用ボタン、さすまた等の防犯グッズ、ヘルメットや懐中電灯などの防災グッズ
 - ③ 新型コロナウイルス感染防止対策の整備**
検温計、消毒液の配置、飛沫防止板の設置、岐阜県感染警戒QRシステム・ココア案内用紙
 - ④ 案内看板等の設置**
案内看板を職員がデザイン、北側窓口等につながらりステーションの案内を分かり易く設置
 - ⑤ 事務用品の準備**
プリンタ、シュレッダー、コピー機、収納用キャビネット、机、イス、パソコン
 - ⑥ その他の整備**
カーペット貼替、北口下足マット取替、パーテーション修繕、電話やインターネット設備の改修等
 - 防犯カメラだけでなく、職員や警備員が日常的に巡回を行うことで、防犯対策の強化に努めた。また、不審者情報等はハートフルスクエアーG全体で情報共有し、連携して対応している。

今期の取組み に対する評価	・電気使用量、空調用ガス使用量は新型コロナウイルスによる影響(利用の制限)で前年度と比較することはできないが、十分な換気を行いながら、館内の適切な温度管理を実施するとともに、照明のこまめな消灯・間引きを確実に実施することで、使用量の節減を図った。 ・施設の平等利用を確保するため、毎月1日に施設利用の抽選会を実施している。また、予約システムへの登録についての案内を窓口・電話等で積極的に行った。 ＜リスク対応＞ ・職員が個人情報保護やセキュリティ対策に関する研修を受けるなど、利用者安全について取り組んだ。 ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。 ・非常時に備え、各職員が適切に行動できるよう図書館や消費生活センターなどの各施設と連携し、避難訓練(6月)を実施した。また、防災士/防災リーダーを中心に、緊急時・災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。 ＜その他＞ ・応急手当協力事業所として、地域の方の安全安心に貢献した。 ・快適な公共空間を提供するためアダプトプログラムに参加し、ハートフルスクエアーG全体で施設周辺の美化に努めた。 女性センター 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、主催事業の開催について計画通りに実施した。 ＜実施事業＞ ・「そのとき！！に備えて…」において、対面の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、動画配信及び動画視聴環境のない受講者向けに動画上映会を実施。市民の利便性と誰もが平等に安心・安全に受講できるよう配慮した。 ・「男女共同参画つながり創出事業」において、センターの講座受講者やハートフルネットぎふの会員団体と協働し、講座を企画した。講座受講者や会員団体同士、市民との交流、各種関係団体との新たなつながりを創出することができた。 ・ハートフルネットぎふ合同企画において、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、オンライン会議システムZoomを使い、会場とオンラインの併用で行うハイブリット形式で開催。講師などの講演を聞くだけでなく、ブレイクアウトルーム機能を使い、受講者同士での意見交流を行う機会も提供した。 ・「男女共同参画つながり創出事業」において、「なかったことにしない性暴力！#Me too #With You フラワーデモ」と題し、オンライン会議システムZoomによる生配信で開催。性暴力の経験がある受講者が安心・安全な場で参加できるよう、氏名の代わりとして受講番号を割り振り、また、ビデオOFFでの参加を可とするなど、十分に配慮し講座を開催した。受講者より「Zoomだったから、受講することができた」「匿名で良かったので、安心して参加できた」などの感想が寄せられた。デリケートな問題をテーマにした講座をオンラインで開催したことは、良い効果が生まれ、さらに講師と受講者との新たなつながりを創出することができた。 ・「心とからだ・性の健康関連講座」において、コロナ禍で望まない妊娠の相談が全国的に増加したことを受け、保護者や若年者に関わる市民を対象に、「こどもの性教育」に関する講座を開催。講座に関する質問や子どもへの性教育に対する悩みが聞けるよう、講師と受講者同士の情報交流ができる時間を設けた。情報交流によって、多くの質問や悩みが挙げられ、関心の高さが伺えた。また、託児があったことで、参加することができたという受講者もあり、託児付き講座の必要性を改めて感じた。 ・「女性の生き方・働き方大相談会」において、対面、電話による相談に加え、一部の相談をオンラインとし、新型コロナウイルス感染拡大防止と相談者の利便性を図ることができた。 ・厚見学園厚見中学校及び大垣女子短期大学の依頼を受け「男女共同参画出張セミナー」を実施。中学生には、クイズ形式で「ジェンダー」を自分事として考える機会を提供した。また、短大生には、女性のキャリアアップやコロナ禍で女性が直面した実態、ドラマやテレビコマーシャルをジェンダーの視点で考えられる内容を織り交ぜ、若年層の各年代に合わせた男女共同参画の啓発に取り組んだ。 ＜その他＞ ・女性センターの電話相談を「あんしんつながりステーション岐阜駅東」に移動させることで、ステーション相談員と連携しながら、電話相談から挙げられる困りごとをより専門的な支援先へ繋げることができた。 ・男女共同参画の啓発を図るための関連図書を「あんしんつながりステーション岐阜駅東」に設置したところ、貸出数を増加させることができた。市民が男女共同参画について学ぶ機会の一助となった。
前回までの意見の 取組み状況	生涯学習センター ・講座アンケートを参考にしたり、個人ボランティア登録者とまなバンク登録団体全てに聞き取りを行うことで、市民ニーズに沿った事業展開に努めた。 ・上半期については、「現代的課題に対応する生涯学習講座」として、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を盛り込んだ事業展開に努めた。 ・岐阜市美術展覧会におけるネット配信の一環として、過去の受賞作品を作品募集時期からインスタグラムに投稿し、展覧会のPRと当年度の受賞作品を閲覧できる下地作りを行った。展覧会の中止により、当年度の受賞作品の紹介は実現できていないが、今後も継続的に取り組みを実施していく。 女性センター ・「女性センター相談室 電話相談」において、特に4月～6月にかけて、相談件数が昨年度比で大幅に増加した。長期にわたるコロナ禍の影響で、不安や社会とのつながりを求める相談が多かった。そのため、相談者にとって心の拠り所となるよう、寄り添った対応を心掛けた。

今後の取組み	・指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行っていく。 生涯学習センター ・生涯学習拠点施設としての機能をいかにしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。 ・多様な事業を企画する上で、Webinar(ウェビナー)(Web(ウェブ)とSeminar(セミナー)を合わせた言葉)の情報収集を続けるとともに、所管課の指示を仰ぎながら、事業を展開する。 ・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、新型コロナウイルスの影響で活動が停滞している団体や個人の声に耳を傾け、活動の再開や継続の助けとなる情報の提供に努める。 ・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。また、地域活動情報システム「まなバンク」を活用して、地域人材の活性化に努める。 ・ボランティアコーディネーション力や生涯学習コーディネーターの資格を積極的に取得し、相談業務および活動支援の充実を図る。 ・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材を育成するため、「市民講師養成講座」を実施し、市民がこれまで培ってきた知識や技術、能力や経験をいかして活動する講師の養成と活躍機会の充実を図る。 ・市民文化祭(芸術祭・文芸祭)の開催にあたり、新型コロナウイルス感染対策の徹底と社会情勢に応じた事業内容の調整を行い、安全・円滑な事業運営に取り組む。 ・岐阜市美術展覧会における受賞作品のアーカイブ化に向け、HPの整備を実施する。 女性センター ・男女共同参画拠点施設として、「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、男女共同参画社会の実現を目指した講座の充実を図る。 ・8月の開催を予定していた「パパtoいっしょにあそぼ！育パパ応援♪わくわくリズム」において、緊急事態宣言に伴い、開催中止となったが、応募者数は定員を大きく上回り、父親と子供を対象とした講座のニーズが高かったため、1月のフェスタで再度企画する。 ・「女性の学び・働くスキルアップセミナー」において、岐阜市、NPO法人、企業と連携し、出産や育児によりブランクのある女性やキャリアチェンジを通じて理想の働き方を目指す女性を対象に、切れ目のない就職支援を行うため、マインドアップや専門性を高める学び直しの場を提供する。 ・センター受講者を対象とした「男女共同参画つながり創出事業」において、上半期で行った活動を振り返り、今後の活動にむけて個々の課題を明確にし、起業に向けて特技や能力を活かした更なる活動を支援する。 ・ワーク・ライフ・バランス事業において、女性従事者が少ないとされる農業分野で活躍する講師を招き、農業における新しい女性の働き方について学ぶ機会を提供する。 ・「大学・短期大学との男女共同参画連携講座」において、男女共同参画を身近に感じられるよう、古典文学を読み解きながら、男女共同参画を学ぶ機会を提供する。 ・各種研修に積極的に参加し、女性センター職員として、専門性を更に高める。
---------------	---

●所管課の意見

生涯学習センター ・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、市の対応方針が改訂される中、館内のポスターやホームページ等で改定内容を周知するだけではなく、その都度、予約団体全てに電話で連絡し、改定内容を伝え理解を図るなど、利用者に対し、丁寧な対応がとれていることは評価できる。 ・利用者アンケート調査の要望にあるネット環境を整備し、コロナ禍で需要が高まるオンライン講座などにも対応できている。 ・施設の日常点検及び定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために努めている。 ・9月1日にオープンしたあんしんつながりステーション岐阜駅東については、施設管理者としてステーションの利用者やスタッフの使い心地の視点から、必要な修繕、備品購入等を検討し、それらを迅速に実施・導入したことを高く評価する。 ・文化振興業務は、市民及び団体との協働により事業が進められており、上期は主に市民文化祭の開催に向けて準備を着実に進めている。美術展覧会においては、新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされたが、Instagramを活用し、展覧会のPRや受賞作品を閲覧できる体制を整えたことは評価できる。引き続き、効果的な情報発信により、長い歴史やノウハウが詰まった市民文化祭が、より多くの人に参加していただけるよう、事業の多くが集中している下半期も盛り上げていただきたい。 女性センター ・オンライン研修等のスキルを職員が身に付けられたことから、対面講座、オンライン講座、どちらでも速やかに対応でき、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設利用停止となっても座学においては中止することなく講座を実施することができている。 ・また、新規事業である「学び・働くスキルアップセミナー」においては、他機関と連携し就労を希望する女性に対して伴走型の支援を提供している。他機関と密に調整を図りながら、就労に向けたセミナーが着実に進められていることは評価できる。今後、1月に実施するマッチングイベントに向け、受講生のキャリア支援に引き続き寄り添いながら、一人でも多くの女性と企業のマッチングができるよう努めていただきたい。 ・指定管理事業外で「コロナ禍における女性と社会のつながりサポート事業」を7月に受託された。9月1日のあんしんつながりステーションのオープンまで期間が大変短い中であつたが、女性センターとして運営体制の構築を強力に支援し、無事オープンを迎えることができた。また、指定管理事業と絡めながら窓口業務が円滑に実施できるよう工夫をし取り組んでいただいていることも評価できる。女性の困りごとに対処できるよう、指定管理事業での相談業務と、新たにオープンした窓口業務とコラボレーションしながら、相談者に寄り添った事業展開を今後も期待する。
--

●指定管理者評価委員会の意見

・休館期間が70日間あったということで、前期よりも長かったが、稼働率は上がっている。それだけ皆さんが交流を図りたいという思いがあるのだと思う。その受け皿として生涯学習・女性センターが機能しているということであり、評価したい。 ・前回と比べ、満足度が上がっている。コロナ禍で不便な中で、精一杯の対応をいただいているということだと思う。また、生涯学習・女性センターからコロナの感染が広がるということもなく、スタッフの皆さんが一般の方以上に自身の日常生活にも気を付けているということであり、これもあわせて評価したい。 ・使用料金制であるので、効果性、効率性という観点から管理運営をチェックしていく必要は、そんなにはないのではないか。実際に行われた業務に即して評価したほうが良い。 ・相談機能が定着してきており、コロナ禍においては、特に意味があることだと思う。引き続き頑張っていたいただきたい。
--